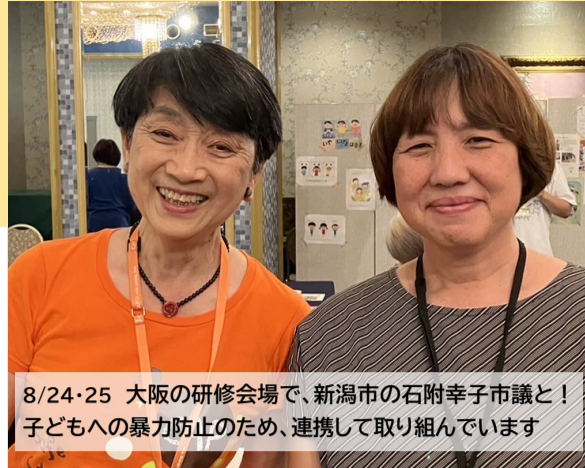
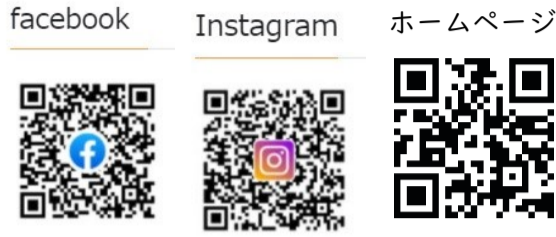


系数たかこ通信 那覇市議会活動報告

〒902-0066 那覇市大道169-4 コーポ花城B-102 すぱーす・結内
電話:080-3903-2948 e-mail:itokazu.takako@space-yui.com
後援会ホームページ:https://itokazu-takako.com



8/24・25 大阪の研修会場で、新潟市の石附幸子市議と！子どもへの暴力防止のため、連携して取り組んでいます

たかこ通信は紙面ではなく、EメールでPDFを送ることもできます。Eメール受信に変更したい方は、上記メールアドレスに、お名前と現在通信を受け取っているご住所、PDFデータでの通信受け取りに変更したい旨ご連絡ください。

系数 たかこ通信

9号

2024 10・11



9月定例会が終わりました。思えば初めての質問したのが、3年前の9月議会でした。あつという間の3年ですが、徐々に取り組んできたことの成果がみえてきました。あらためて政治と暮らしが近いこと、その最前線にいるのが市議会議員なのだと思いを引き締めていくところです。今議会は、補欠選挙後、はじめての定例会でした。私たちニライ会派はいったん解散し、新たに「立憲民主・社民・ニライ」会派を結成。7人でスタートしました。市民のために一緒に頑張っていきます。

さて、今回の「たかこ通信」は、9月議会の代表質問と一般質問の報告に加え、視察や研修、議会報告会のようすなどをお伝えします。ご意見感想などお寄せいただくと嬉しです。

母子に対する心身のケアや育児のサポート等を行うことで母親の身体的な回復と心理的な安定を促進し、安心して育児に取り組めるよう支援する事業です。事業自体の認知度が上がり、利用者も増えてきました。それに伴って見えてきた課題について質問しました。主旨は、

- ①利用したいと思っ て申請してから、実際にケアを受けられるまでのタイムラグをできるだけ短くすること
- ②那覇市は利用できない施設が少なく、すぐに利用できずにキャンセル待ちになることも。那覇市民が利用できる産後ケア施設を増やすこと
- ③産後ケアの各施設と、事業を進める上での課題について、定期的に意見交換を行う場を作り、運営についても配慮する

「つらい」「助けて欲しい」と思ったとき、すぐに手が差し伸べられるような制度で

児童発達支援について
児童発達支援のなかで今回は、通所支援サービスについてとりあげました。児童デイと学校や保育園、市との連携についてや、児童の発達面について診断が受けられる医療機関が少なく、診断までに時間を要するため、保護者が困っていることなどを質問しました。

連携はできていること、医療機関については、早めに保護者に知らせているとの回答がありましたが、さらに注視していきたいと思えます。

首里フィヨンの子保育園とライオンの子保育園キアラが、保育士の虚偽配置により公金の不正受給をしていた問題について、特別指導監査の経緯等、確認しました。市町村をまたいだ不正は発見が難しいという点は理解できますが、県や他自治

体と連携し、市としてしっかりと対応できるように要望しました。ほかに、保育士確保支援について那覇市としての取り組みを充実してほしいこと、以前那覇市でも行われていた子育て支援員養成の再開を要望しました。

子育て支援員は、園児の食事の介助や清掃など保育の補助業務を担うことができ存在です。沖縄県が養成講座を実施していますが、希望者が多く、受講できない人もいるとのこと。那覇市での実施を求め声があがっています。それを受けて、実施を予定しているという回答があり、安堵しました。

一般質問9月12日

性暴力について

米兵による性暴力

米兵による一連の性暴力事件及び事件の隠蔽についての本市の見解を伺いました。総務部長から「綱紀厳正徹底、再発防止策強化が強く望まれます。日本政府には情報伝達方法について十分な対応を講じていただく事が重要だと考えている」という回答がありました。

デジタル性暴力

デジタル性暴力について現状を把握しているか質問しました。沖縄県警のホームページによれば、昨年中のサイバー犯罪の検挙件数は、1377件で、そのうち児童買春・児童ポルノ法違反については26件、沖縄県青少年保護育成条例違反は18件など、デジタル性暴力とながる恐れのある事件が検挙されているそうです。

女性に恋愛関係だ

HPVワクチンについて

HPVワクチンについては、現在、裁判中で、被害にあわれた方々は大変な苦勞をされています。積極的奨励で、予防接種の効果も宣伝するのであれば、被害に遭ったときの対策がしっかりとされていないはず。副反応の説明で「HPVワクチンを受けたいお子様と保護者の方へ」という文書を厚労省が出している、那覇市のホームページにも掲載されています。そのなかに「まれにですが起こるかもしれない重い症状」の説明があります。「ワクチンを受けた方に、広い範囲に広がる痛みや手足の動きににくさ、不随意運動(動かさずとも勝手に動かない)に体の一部が勝手に動いてしまうこと」などを中心とする多様な症状が起きたことが報告されています」と。

この情報が掲載されていることは評価しますが、すぐその後

あつてほしいです。

これまでに何度も繰り返されてきた「綱紀厳正」「再発防止」という言葉。その実効性の無さに、怒りを覚えます。そして、事件の隠蔽がなければ、次の被害を防げたのではないかと悔しくてもなりません。

また、県外で、NPO法人ぱつぱつという団体が「性的搾取に終止符を打つ」というミッションを掲げ、取り組んでいます。ぱつぱつから講師を招いての講座を企画してはどうかということも提案しました。

◆日本版DBS

学校設置者や民間教育保育事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律、いわゆる日本版DBS法が6月に成立しました。子どものいる現場で働く人の特定の性犯罪歴を確認する制度です。2026年12月までに運用の開始が予定されているので、那覇市としても準備が必要なことを確認しておきました。

◆デジタル性暴力

デジタル性暴力について現状を把握しているか質問しました。沖縄県警のホームページによれば、昨年中のサイバー犯罪の検挙件数は、1377件で、そのうち児童買春・児童ポルノ法違反については26件、沖縄県青少年保護育成条例違反は18件など、デジタル性暴力とながる恐れのある事件が検挙されているそうです。

女性に恋愛関係だ

に、「ワクチンを受け
ていなくても、こうし
た症状のある方がい
ることが分かっています
ます」とあります。同
様なことがあつたら
相談してください、
というための資料の
はずなのに、相談を
躊躇させるようなこ
とになっていないか
指摘しました。

平和行政

那覇市は毎年、長崎
市の青少年ピースフ
ォーラムへ中学生を
派遣しています。
青少年ピースフオー
ラムは、8月9日の長
崎原爆犠牲者慰霊平
和祈念式典に併せ、
全国から派遣された
青少年と、長崎の青
少年が被爆の実相や
平和の尊さを学習
し、交流を深めるこ
とで、平和意識の高
揚を図ることを目的
としています。

私は、8月8日、10
日、長崎に行って、ピ
ースフォーラムを見
学してきました。2日
間のピースフォーラ
ムと、平和記念式典



8月9日、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈
念式典に参列しました。

では、長崎の若い人
たちがあちらこちら
で活躍している姿が
印象的でした。
ピースフォーラムに
向け、若者たちは4
月から研修を重ね、
直前に入念なりハー
サルを行って、当日を
迎えるということだ
した。全国から人を
招く事業を継続して
行うことで、地元長
崎での人材育成につ
ながっていることが
理解できました。

一般質問では、那覇
市での派遣事業につ
いて、課題を質問し
たところ、学校や慰
霊祭等において、平
和スピーチ等の活動
が行える機会が得ら
れるよう学校等関係
機関へ周知したいと
いうことでした。

10月5日に行われた
那覇市戦没者追悼式
で、今年のピースフ
ォーラムに派遣され
た中学2年生の宮里
さんが「平和のメッ
ジを力強い言葉で発
信していました。」

緊急動議 9月13日

なはーと休館日
自民党総裁選挙
演説会?

自民党の総裁選の
ために、那覇文化芸
術劇場なはーとを、
休館日である9月17
日に市長権限で貸し
出すということが、
普久原朝日議員の一
般質問で明らかにな
りました。

「特定の政党の総裁
選のために、休館日
をあけてまで開催す
ることについて、行政
の公平性に問題はな
いのか、行政の私物
化ではないか」という
朝日議員の質問に十
分な答弁が得られな
いまま時間切れとな
ってしまいました。

経緯や公平性、そし
て文化行政をゆがめ
ることにならない
か、問題は明らか
にしなければなら
ない。説明を求め
るために私たち「立憲民
主・社民・ニライ」会派
と、共産党会派、に
ぬふあぶし那覇の3
会派がそれぞれ緊急
動議を出しました。結
果は数の力で否決。
質問の機会は得られ
ませんでした。

改めて3会派から
市長へ「なはーとの適
正運営を求める要望
書」を提出し、説明と
情報公開を強く求め
ています。



7月10日~12日、明石市と兵庫県のまちなね浜甲子園を視察して
きました。写真は明石市立松が丘小学校です。まちなね浜甲子園の
ネイバーフッドデザインの考え方も興味深いです↓

明石市の街づくり を視察しました

明石市と言えれば子
育て支援というイメ
ージが強いですが、市
民主体のまちづくり
においても、長い歴史
があり先進地です。
地域の人が活動で
きる拠点が学校の中
にあり、そこにスタッ
フが配置されています。
さらに地域と学
校が共に子どもの学
びに責任をもつコミ
ュニティスクールの活
動も活発です。

小学校2校をたず
ねて、活動拠点の雰
囲気と熱気を味わ
うことができ、協働体
制がとて参考にな
りました。
そして那覇市も進
めている校区まちづ
くり協議会が、明石

「ゆるやかなつながり」が
まちの未来を変えていく

著者を囲む会×
糸数たかこ活動報告会
8月17日、私の市議
会活動の報告と、「翡翠
色の海へうたう」の著者
深沢潮さんの講演、そ
して、基地軍隊を許さ
ない行動するわたしたち
の会共同代表の高里鈴代
さんを交えてのクロス
トークを開催しまし
た。旧盆中にも関わら
ず、50名近い参加があ
り、琉球新報に掲載さ
れました。

8月20日琉球新報

沖繩戦を題材 執筆思い語る 深沢潮さんを囲む会

戦時中の沖縄を舞台に
した小説「翡翠色の海へ
うたう」の著者深沢潮
さんを囲む会が17日、那覇
市おもろまちの市職員厚
生会ホールで開かれた
写真。



深沢さんは「外の人が
書いた沖縄戦を意識しな
ければならない。勝手に
語を描く。
深沢さんは沖縄旅行で
平和祈念資料館を訪れて
沖繩戦について知り、そ
の後小説の題材にしよう
と沖繩を何度か訪れた。
深沢さん自身が在日韓国
人として差別などを受け
た経験から「沖繩の人の
気持ち分かるかもしれ
ない」という傲慢な気持ち
で取材に来た」と振り返
った。

★たかこの議会エッセイ★

補欠選挙で議員になった皆さんが、緊張の
面持ちで代表質問や一般質問を行っている。
3年前のことなのに「懐かしいなあ」と思っ
てしまった。議会に慣れてきたかなと思っ
て、が、ぜんぜん慣れないことがある。写真であ
る。撮るのは好きだが、撮られるのは苦手。ま
ず、「たかこ通信」やSNSに活動をアップす
るため、自分が写っている写真が必要なのに、
私のスマホには私がない写真ばかり。

「なは市議会だより」に掲載される顔写真の
撮影も苦手だ。これまでは質問している際中
に議会事務局の職員さんが撮影していた。そ
れを6月議会の「市議会だより」から、顔写真
の撮影を別途行うことになった。ほぼ1日中
議場に張り付いていた撮影担当が、質問した
議員を本会議終了後に順番に流れ作業的に撮
影すればよくなったので、事務局の負担が大
きく減った。働き方改革の一環として、私たち
広報会議が試験的運用を決定したので。

はい、ポーズで写すのだから、いい顔がつく
れそうなのだが、結果はあまり「良い」とも
言えないのは、私の不徳の致すところ。という
話を友人にしたら「いつもこんな顔だけどう？」
と言われた。喜ぶべきなのだろうか。写真に
写ることも仕事である。精進あるのみだ。

スナッチ報告

8月10日 長崎市永井隆
記念館に行ってきました
(写真左は館長さん)

9月23日 あけもどろ女性の
会研修会「ピースボートの旅
20カ国をめぐる」講師の
宮平のりこさんを囲んで。

10月5日 那覇市戦没
者追悼式(なぐやけの碑
慰霊祭)に参列しました
10・10空襲から80年、
恒久平和を願います。